

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】令和4年5月18日(2022.5.18)

【国際公開番号】WO2021/106843
 【出願番号】特願2021-561407(P2021-561407)

【国際特許分類】

D 0 2 G 3/02(2006.01)

D 0 2 G 3/04(2006.01)

D 0 6 M 23/16(2006.01)

D 0 3 D 15/283(2021.01)

10

【F I】

D 0 2 G 3/02

D 0 2 G 3/04

D 0 6 M 23/16

D 0 3 D 15/283

【手続補正書】

【提出日】令和4年3月4日(2022.3.4)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部からのエネルギーにより電位を発生する複数の電位発生繊維と、
 前記複数の電位発生繊維に付着する界面活性剤と、
 を備え、
 前記界面活性剤の付着態様が一樣ではない、
 糸。

30

【請求項2】

外側に配置される電位発生繊維と、内側に配置される電位発生繊維と、で付着する界面活性剤の量が異なる、
 請求項1に記載の糸。

【請求項3】

外側に配置される電位発生繊維に付着する界面活性剤の量は、内側に配置される電位発生繊維に付着する界面活性剤の量よりも多い、
 請求項2に記載の糸。

【請求項4】

前記複数の電位発生繊維は、前記電位が発生した時に異なる電位となる、少なくとも2つの電位発生繊維を含む、
 請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の糸。

40

【請求項5】

前記複数の電位発生繊維の間に配置される絶縁体を備えた、
 請求項1乃至請求項4のいずれか1項に記載の糸。

【請求項6】

前記複数の電位発生繊維のうち内側に配置される電位発生繊維の太さは、外側に配置される電位発生繊維よりも太い、

請求項1乃至請求項5のいずれか1項に記載の糸。

50

【請求項 7】

前記糸は、仮撚糸である、
請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の糸。

【請求項 8】

前記複数の電位発生繊維は、表面に凹凸を有している、
請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載の糸。

【請求項 9】

前記糸は短繊維を含む紡績糸であり、前記短繊維の端部は前記紡績糸の側面から露出する、
請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項に記載の糸。

10

【請求項 10】

前記複数の電位発生繊維は、ポリ乳酸を含む、
請求項 1 乃至請求項 9 のいずれか 1 項に記載の糸。

【請求項 11】

請求項 1 乃至請求項 10 のいずれか 1 項に記載の糸を含む布帛。

【請求項 12】

前記布帛に含まれる複数の前記糸の動的接触角の最大値および最小値は中心値から ± 10 以上である、
請求項 11 に記載の布帛。

20

30

40

50